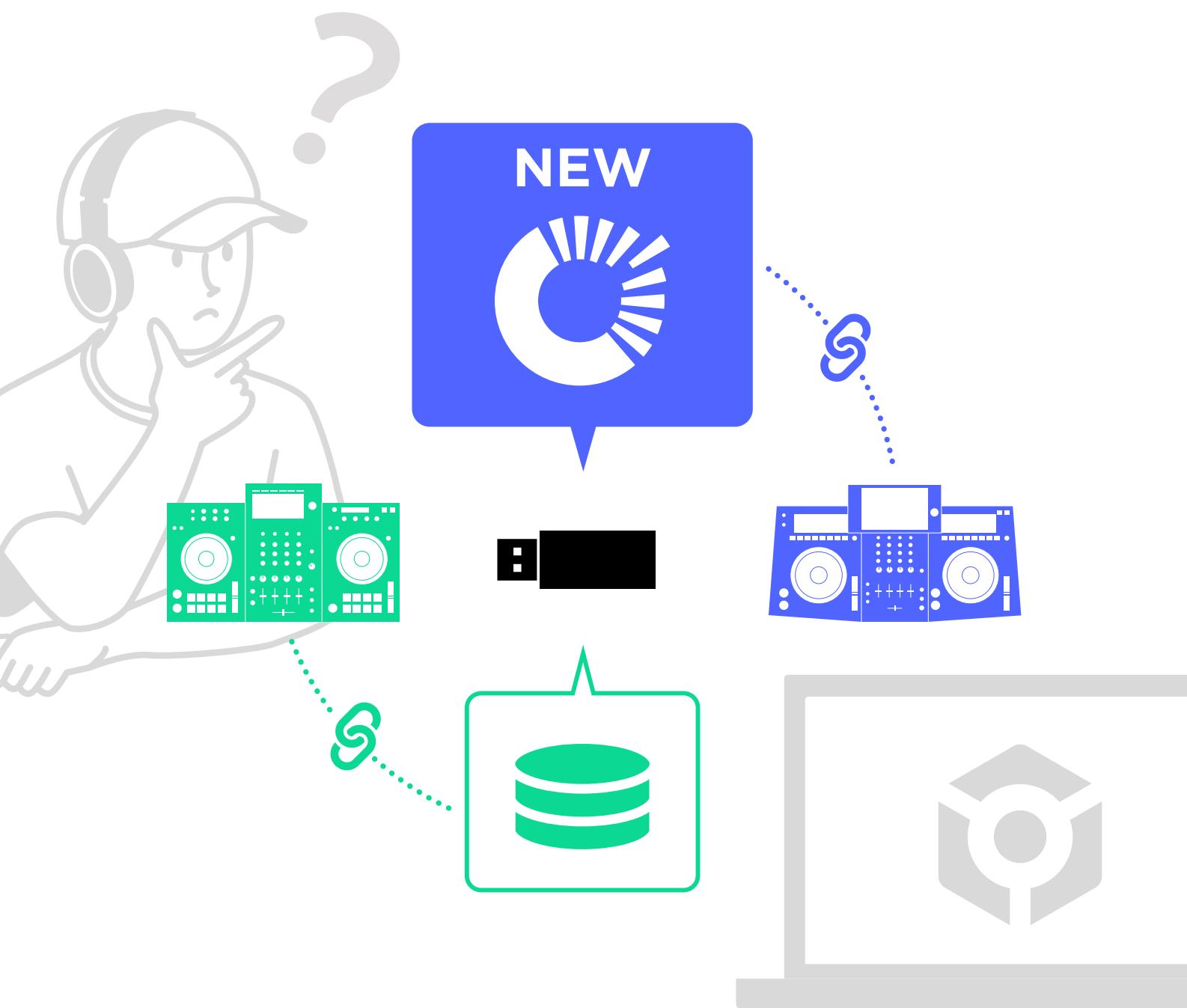


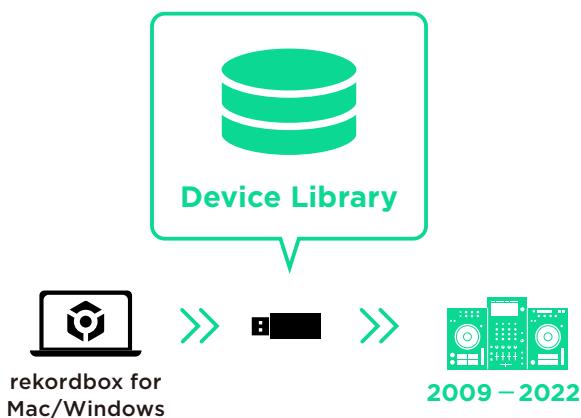
USBエクスポート ガイド



USBメモリーのライブラリについて

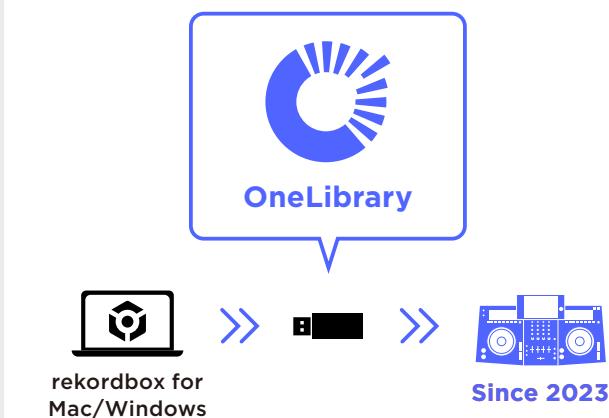
Device Library

rekordbox は USB メモリーに楽曲をエクスポートする時に、DJ プレイ時に役立つブラウズや、キューなどを含むライブラリを作成してきました。この従来のライブラリ形式を、**デバイスライブラリ**と呼びます。



OneLibrary*

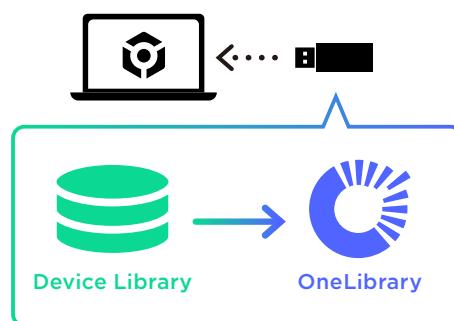
AlphaTheta は将来も信頼性の高い製品を提供し続けるために、今後の製品では、従来のライブラリに代わる新しいライブラリ形式を徐々に採用していきます。この新しいライブラリ形式を、**OneLibrary** と呼びます。



*旧称：デバイスライブラリプラス

従来のデバイスライブラリから OneLibraryを作成

今まで使っていた**デバイスライブラリ**を **OneLibrary** 形式に変換することができます。最新の rekordbox for Mac/Windows をインストールして、USB メモリーを接続してください。表示されるウインドウに従って操作すれば変換完了です。一度変換すれば、引き続き今まで通りの利用方法で USB メモリーを使用できます。

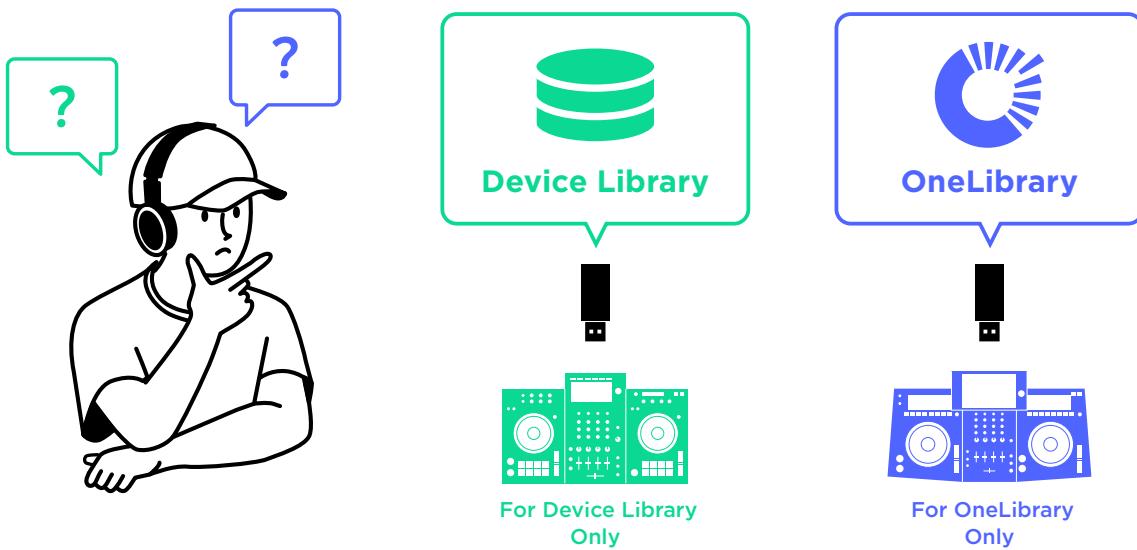


- ・ツリービューのUSBメモリーの**OneLibrary**のコンテキストメニューからも変換できます。
- ・**OneLibrary**から**デバイスライブラリ**への変換はできません。
- ・ご注意：既にUSBメモリーに**OneLibrary**が存在する状態で、変換を行うと上書きされるため**OneLibrary**だけに存在するプレイリストや演奏履歴は失われます。

OneLibraryの対応DJ機器について

DJ機器の機種によって、対応しているライブラリは異なります。

DJ機器の各機種がどちらのライブラリに対応しているのかについては[こちら](#)をご確認ください。

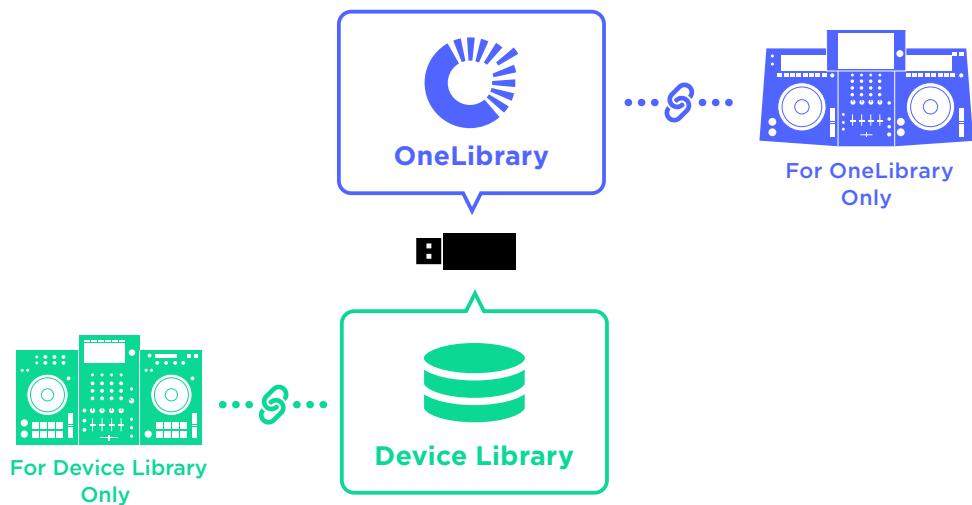


USBメモリー内の2種類のライブラリ

USBメモリー内には、新しいライブラリである **OneLibrary** と、従来のライブラリである **デバイスライブラリ** の2つが共存することになります。



DJ機器の機種によって、どちらのライブラリを使用するかは決まっています。

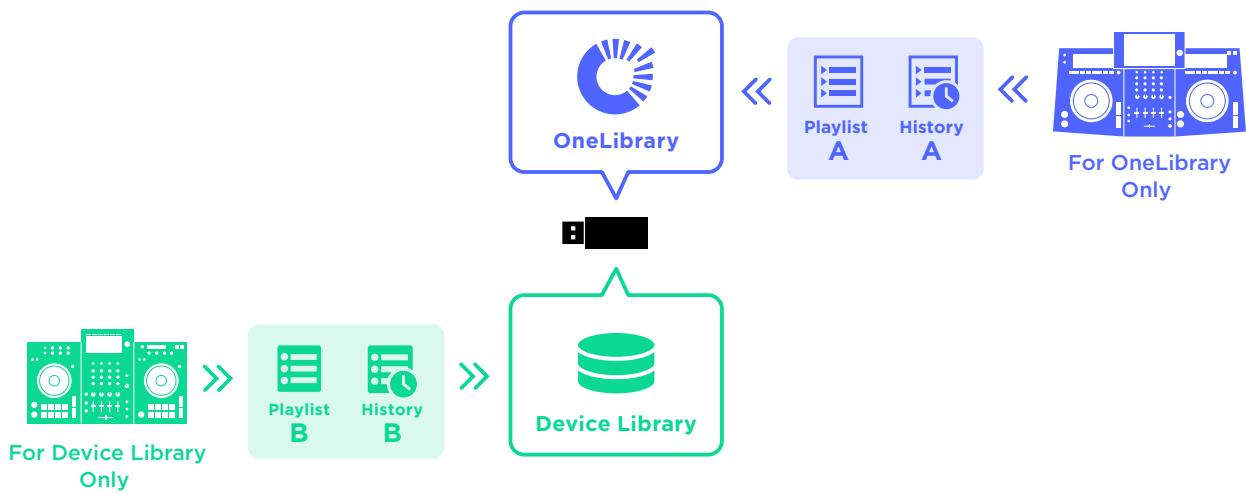


2種類のライブラリに相違ができることがあります

2種類のライブラリはそれぞれ別々に管理されています。

OneLibrary 対応 DJ 機器 : DJ 機器で作成したプレイリストや演奏履歴は、**OneLibrary** に保存されます。

デバイスライブラリ 対応 DJ 機器 : DJ 機器で作成したプレイリストや演奏履歴は、従来の**デバイスライブラリ**に保存されます。



そのため同じ USB メモリーを使っていても、使用的する DJ 機器によってブラウズ時に表示される内容が異なることがあります。

OneLibrary 対応 DJ 機器で作成した演奏履歴やプレイリストは、**デバイスライブラリ** 対応 DJ 機器では表示されません。またその逆も同様です。

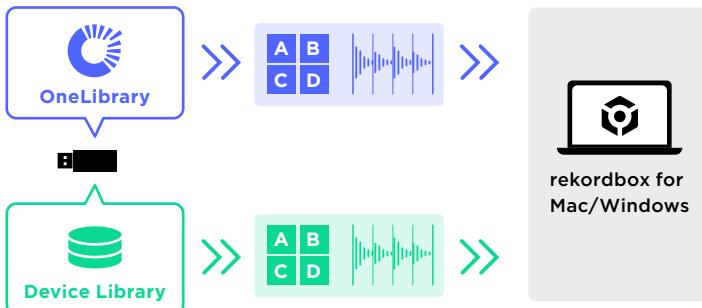


2種類のライブラリを一致させる手順

STEP 01

コレクションを更新

DJ機器で編集したキューポイントやビートグリッドの微調整を、rekordboxのライブラリに反映させるために転送します。



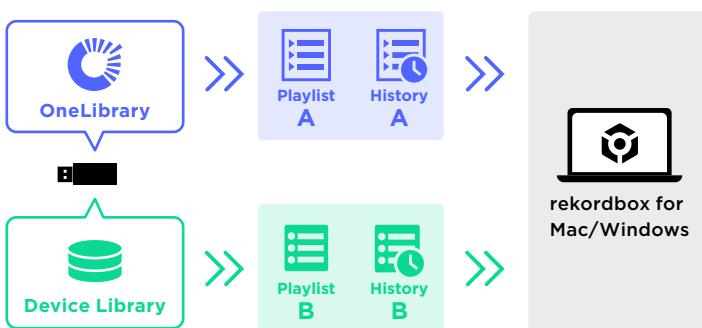
ツリービューのデバイスを右クリックして、「コレクションを更新」を選択します。



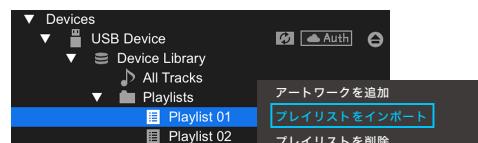
STEP 02

デバイスプレイリストのインポート

DJ機器で作成したプレイリストを、USBメモリーからrekordboxに転送します。



ツリービューのデバイスでプレイリストを選択して、右クリックして「プレイリストをインポート」を選択します。

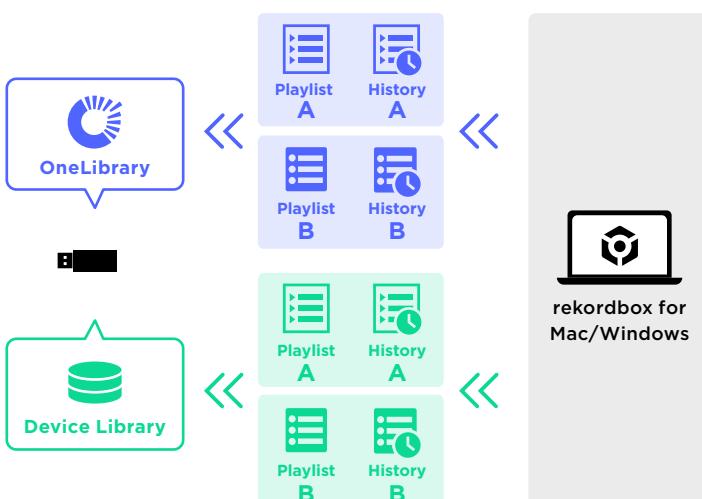


※rekordbox のデフォルトでは、演奏履歴は自動的にインポートされます。

STEP 03

プレイリストの上書きエクスポート

プレイリストをエクスポートすることで、OneLibraryとデバイスライブラリの両方に転送できます。



ツリービューのプレイリストから目的のプレイリストを選択して、右クリックして「プレイリストをエクスポート」を選択します。

